

第153回日本ユネスコ国内委員会総会

## 次世代ユネスコ国内委員会の活動進捗報告

次世代ユネスコ国内委員会  
2023年9月21日



## 活動履歴

# 6月15日から本日まで、全体ミーティング及びチームごとのミーティング実施に加え、関連外部機関・組織と協議しながらユネスコ未来共創プラットフォーム事業を中軸に据えて活動を実施

-凡例- 内部のミーティング

#	日付	タイトル	概要
1	2023/06/15	キックオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 事務局から委員会の概要説明</li> <li>2. 各委員から自己紹介</li> <li>3. 令和4年度の実績結果について</li> <li>4. 令和5年度の活動の方向性について</li> </ul>
2	2023/06/21	全体定例ミーティング①	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー自己紹介</li> <li>過年度活動のシェア</li> </ul>
3	2023/06/29	令和5(2023)年度第1回プラットフォーム共創ワーキンググループ会合	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 挨拶、自己紹介</li> <li>2. R5年度事務局業務概要説明</li> <li>3. 各団体からの報告（各団体5分程度）</li> <li>4. コンテンツ制作と発信について</li> <li>5. ユネスコウィーク2024（およびユースフォーラム）について</li> </ul>
4	2023/07/05	文部科学省とのショートミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本ユネスコ国内委員会第515回運営小委員会での提案内容について</li> </ul>
5	2023/07/11	全体定例ミーティング②	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユースによる情報発信及びユースフォーラムの説明（ACCU*1より提供の資料を基に情報共有）</li> <li>チーム*2分け及びリーダー決定（教育・科学・文化）</li> </ul>
6	2023/07/14	日本ユネスコ国内委員会第515回運営小委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「これからの時代におけるユネスコ活動の推進等についてユース視点からの提言」発表・討議</li> </ul>
7	2023/07/27	科学チーム 定例ミーティング①	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度活動の振り返り及び今年度活動方針の検討</li> </ul>
8	2023/07/28	教育チーム 定例ミーティング①	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度活動の振り返り及び今年度活動方針の検討</li> </ul>
9	2023/08/01	ACCUとの打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ACCUによるポータルサイトにおけるユース関連の情報発信とユースフォーラムに関する計画の概要説明に基づく討議</li> </ul>
10	2023/08/09	プラットフォームリーダーミーティング①	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユースフォーラムの枠組み決め（後段で詳細報告）</li> </ul>
11	2023/08/14	全体定例ミーティング③	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイトにおけるユース関連の情報発信に関するコンテンツのアイデア出し（後段で詳細報告）</li> <li>全体及び各チームの進捗共有</li> </ul>
12	2023/08/15	科学チーム 定例ミーティング②	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度活動方針に基づいたアクションの検討</li> </ul>
13	2023/08/19	文化チーム 定例ミーティング①	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度活動の振り返り及び今年度活動方針の検討</li> </ul>
14	2023/08/29	教育チーム 定例ミーティング②	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度活動方針に基づいたアクションの検討</li> </ul>
15	2023/09/03	科学チーム 定例ミーティング③	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度活動方針に基づいたアクション計画の策定</li> </ul>

\*1：公益財団法人ユネスコ・アジア文化センターの略称。ユネスコ未来共創プラットフォーム事業事務局。

\*2：昨年度に引き続き、個人の関心やこれまでの経験に則して教育・科学・文化チームに分け、分野ごとの活動を実施。

令和4年3月の提言に基づき、昨年度に引き続き、教育・科学・文化分野での活動を展開しつつ、今年度は特に【4.「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画】に注力していく

ユネスコ活動の活性化に向けて  
(提言)

令和4年3月  
次世代ユネスコ国内委員会

はじめに

次世代の考えるユネスコ活動の強み

提言

1. 対話型ワークショップの実践

(1) 主に大学生を対象とした対話型ワークショップの実施

2. ユネスコエコパーク及びユネスコ世界ジオパークへのユースの積極的な参画

(1) 各登録地域でのユースアンバサダーの任命

(2) 登録地域におけるユースの学術研究フィールドワークの推進

3. 「ユネスコ創造都市ネットワーク」事業へのユースの積極的な参画

(1) 創造都市事業と他のユネスコ事業（特にユネスコスクール）との連携促進

(2) ユース世代を対象とした「ユネスコ創造都市ユースサミット（仮称）」の開催

4. 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画

注力分野

(1) ユースによるユネスコ関連組織と、ユースからのコンタクトを歓迎する団体リストの作成と周知

(2) 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」上にユース専用ページ「ユースページ（仮称）」を設置

(3) 「次世代ユネスコユースフォーラム」の実施

終わりに

今年度は主に「4. ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画に注力し、ユネスコ活動関連団体とユース間の連携・ユネスコ活動に関わるユース間の連携を強化していく

#### 4. 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画（1）（2） > ユース関連の情報発信（案）

ユース関連の情報発信については、主に(1)次世代ユネスコ国内委員会関連、(2)ユネスコ活動関係団体・組織によるユースの取組関連、(3)ユネスコウィーク・ユースフォーラム関連の3軸で検討

カテゴリ	(1) 次世代ユネスコ国内委員会関連	(2) ユネスコ活動関係団体・組織による ユースの取組関連	(3) ユネスコウィーク・ ユースフォーラム関連
概要	次世代ユネスコ国内委員会の設置目的や各委員の紹介、活動内容等	ユネスコ活動関係団体・組織によるユースの取組及びユース世代をターゲットにした活用内容の紹介等	ユースフォーラムの告知及び実施後の感想や振り返り等
目的	ユネスコに関心のあるユース世代の活動への参画促進及び現在関心のないユース世代によるユネスコへの関心喚起	ユースに関する取組を実施するユネスコ活動関係団体・組織及び個人のモチベーション強化及び団体・組織間の横連携促進	ユースフォーラムの告知による参加者の獲得、来年度以降の継続的なユースフォーラム実施を見据えた知名度強化
主なターゲット	ユース（ユネスコ関心・無関心層問わず）	広くユネスコ活動関係団体・組織 ユース（ユネスコ関心層）	一般層（ユネスコ関心・無関心層問わず） ユース（ユネスコ関心・無関心層問わず）
執筆者	次世代ユネスコ国内委員	ユネスコ活動関係団体・組織に所属するユース 又は 次世代ユネスコ国内委員	次世代ユネスコ国内委員 又は ユースフォーラム参加者
発信内容（案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代ユネスコ国内委員会の設置目的や今後の役割に関する対談（例：日本ユネスコ国内委員と次世代ユネスコ国内委員での対談）</li> <li>次世代委員の自己紹介（委員になった背景や関心等）</li> <li>過年度の活動紹介と振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコスクールへのインタビュー</li> <li>大学ユネスコクラブへのインタビュー</li> <li>ユネスコ活動に従事してきたユースへのインタビュー</li> <li>ユース関連の業務に従事するユネスコ関係者・ユネスコ職員へのインタビュー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコウィーク及びユースフォーラムの告知記事</li> <li>ユースフォーラムの参加者・参加団体による記事</li> <li>ユースフォーラムに参加する海外ユースによる記事もしくはインタビュー</li> </ul>

発信内容や媒体、頻度等の詳細は検討中

(参考) 既にリリースしたユース関連の情報

# 昨年度の活動内容である1.日本ジオパーク全国大会の訪問記事、2.糸魚川ジオパークのヒアリング記事については既にFacebookとNoteでリリース済み

## 1.日本ジオパーク全国大会

Note



## 2.糸魚川ジオパーク



### 石のまち糸魚川〜ユース世代が守るジオパークの魅力〜

糸魚川ユネスコ世界ジオパークは、新潟県糸魚川市をエリアとするジオパークであり、日本で初めて世界ジオパークに認定された場所(のひとつ)でもあります。日本を二つに分ける断層である糸魚川〜静岡構造線からは日本列島形成の歴史を知ることができ、雄大な山々との雄麗さによる景観も見所の一つです。また、地球の表面を覆うプレートの沈み込み帯の形成によって産出されるヒスイが産出します。ヒスイは2016年には日本地質科学会によって国石に指定されました。古くから糸魚川の人々はヒスイに価値を見出し使用していて、世界最古のヒスイの文化発祥地でもあります。北アルプスの山々や日本海らしい景色を誇る糸魚川は東京から(北陸新幹線で)約2時間とアクセスが良く、文化・歴史・地質を学ぶことができ、予約は約15分。ジオパークの魅力を伝えるために、ユース世代が活躍する機会を創出したいと考えています。



この度、糸魚川ユネスコ世界ジオパークにおけるユースの関わりと今後の展望について、糸魚川ジオパーク協議会事務局の鳥越様と、フォッサマグナミュージアム学芸員の郡山様にお話を伺ってきました。

Facebook



#### 4. 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画 (3) > ユースフォーラム企画 (案)

**2024年1月に実施するユースフォーラムのテーマは「気候変動」とし、気候変動とユネスコ、さらにはユースとの関連性を専門家等含めながら参加者同士での対話が進むよう設計中**

##### 企画 (案)

日時	2024年1月21日 (日) 終日 (予定) (ユネスコウィーク期間中に開催)	
形式	オンラインとオフライン (国立オリンピック記念青少年総合センター) のハイブリッド	
テーマ	<b>気候変動 × ユネスコ × ユース</b> (理由: ユネスコ本部で開催されるユースフォーラムのテーマであること、現在世界が直面する最も大きな課題であること、ユース世代からの関心が高まっているトピックであること、教育・科学・文化とユネスコが関わる領域全てと関連性があること、等から抽出)	
キーワード	気候変動とユネスコの関わり、気候変動の多面的な影響 (教育・科学・文化)、持続可能な開発のための教育 (ESD)、気候正義、グローバル・サウス、環境移民、日本における自然災害への対応 (減災・防災) など	
主な対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコ活動に関心のあるユース</li> <li>気候変動に関心のあるユース (ユネスコへの関心問わず)</li> </ul>	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユース世代の気候変動に対する関心の向上</li> <li>ユース視点で気候変動に対するユネスコの貢献・役割の理解促進</li> <li>気候変動にユネスコの活動を通じて取り組んでいるユース世代の分野横断的な出会い創出</li> </ul>	
実施形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>パネルディスカッション: 登壇者を招き、ユース世代とディスカッションし、QAを通してフロアと対話</li> <li>ディスカッション: 設定したテーマに沿って参加者同士でディスカッションし、何らかの結論を導出</li> <li>ワークショップ: 設定したテーマに沿って参加者同士でワークショップを実施</li> <li>事例紹介: 国内・海外におけるユースによる気候変動及びユネスコに関する事例の紹介</li> </ul>	} 参加者間での対話が生まれることを意識して設計
分野別	教育・科学・文化それぞれの切り口で気候変動に関連する分科会の実施も想定	
登壇者	ユネスコ活動関係団体・組織、気候変動関連の団体・組織、研究者、民間企業、など	
設計上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくまでユネスコウィークの一部であることを意識し、テーマを気候変動としつつも「ユネスコ」「ユース」の視点を入れ込むこと</li> <li>ユネスコユースフォーラムでの議論内容等、グローバルアジェンダを一定程度考慮すること</li> <li>コミュニケーションが一方通行になることなく、参加者同士の対話が生まれるようにすること</li> <li>イベントを通じて国際的なネットワークづくりを意識すること</li> </ul>	

## チームごとの今年度の活動方針（2023年9月ver.）

# 教育・科学・文化チームごとに昨年度までの連携実績を活用しつつ、新しく参画した委員のネットワークも生かす

### 【4. 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画】における3つの活動

(1)  
ユースからのコンタクトを歓迎する  
団体リストの作成と周知

(2)  
「ユースページ（仮称）」の設置、  
次世代の活動掲載・情報拡散

(3)  
ユースフォーラムの実施

上記3つを計画・実施する過程で  
教育・科学・文化の3分野においても個別の活動を実施

#### 教育

##### ESD推進ネットワーク全国フォーラム 2023への参加（12月9日）

- ESDに関係する方々とのつながりを広く構築することを目的に参加

##### ESD-Netグローバル会合への参加（12月18日～20日）

- ユネスコ加盟国のESD施策を担う政府関係者や教育、持続可能な開発に関わるその他のステークホルダー間との対話によりネットワークの構築及び各国のESD施策・優良事例の情報収集

気候変動と教育に関する分科会実施

教育課題や今後のユースとして求める教育やその開発に向けて議論

#### 科学

##### 日本ジオパーク全国大会（銚子・秩父）への参加（10月28日・29日）

- 日本ジオパーク全国大会内で開催されるユースセッションをサポートしつつ、同時に1月実施のユースフォーラムの告知及び協働先候補のネットワークを形成

##### 室戸ジオパーク、糸魚川ジオパーク、祖母・傾・大崩エコパークとの連携

- ヒアリング及びディスカッションにより主にソーシャルメディアの活用方法に係る施策をユース視点で検討

#### ユースフォーラム

気候変動と科学に関する分科会実施

#### 各国のユース世代とオンラインで関係構築

ジオパーク・エコパークにおける活動の概要やユースの果たす役割について情報交換

#### 文化

##### 臼杵市へのヒアリング

- ユネスコ食文化創造都市である臼杵市に活動内容や課題についてヒアリングを行い、ユースフォーラムで実施するイベントを検討

気候変動と文化に関する分科会実施

ユネスコ文化関連活動とユース世代との関わりについて情報交換

# 今後の活動予定

時期		プラットフォーム (全体)	教育	科学	文化
9月	上旬	情報発信① (1.日本ジオパーク全国大会 (白山手取川) 【2022年10月参加】 / 2.糸魚川ジオパーク 【2022年11月参加】 / 3.旭川まちなかキャンパス 【2023年6月参加】 ) 「関東ブロック・ユネスコ活動活動研究会」への参加			
	中旬				
	下旬			室戸ジオパーク、祖母・傾・大崩エコパークへのヒアリング*4	
10月	上旬	情報発信② (関東ブロック・ユネスコ活動活動研究会)			
	中旬		情報発信		臼杵市へのヒアリング*7
	下旬			日本ジオパーク全国大会 (銚子・秩父) への参加 (10月28・29日) *5	
11月	上旬			糸魚川ジオパークへの訪問①*6	
	中旬	「ユネスコユースフォーラム」への参加			
	下旬				
12月	上旬	情報発信③ (日本ジオパーク全国大会)	ESD推進ネットワーク全国フォーラム2023参加*1	ユースフォーラムでの協働に繋げる	
	中旬	情報発信④ (ユネスコユースフォーラム)	ESD-Netグローバル会合参加*2		ユースフォーラムでの協働に繋げる
	下旬	情報発信⑤ (ユースフォーラム告知)			
1月	上旬	情報発信	ユースフォーラムでの協働に繋げる		
	中旬	情報発信⑥ (ESD-Netグローバル会合)		糸魚川ジオパークへの訪問②*6	
	下旬	ユースフォーラム (全体会)	ユースフォーラム (分科会) *3	ユースフォーラム (分科会)	ユースフォーラム (分科会)
2月	上旬				
	中旬	情報発信⑦ (ユースフォーラム振り返り)	情報発信	各分科会と全大会の繋がりを意識	
	下旬	情報発信⑧ (ユースフォーラム振り返り)			
3月	上旬	情報発信⑨ (ユースフォーラム振り返り)		糸魚川ジオパークとの協働報告書作成*6	
	中旬	情報発信	活動結果の取りまとめ	活動結果の取りまとめ	活動結果の取りまとめ
	下旬	情報発信⑩ (今年度活動結果)			

\*1：小路委員が近畿ESDセンターのメンバーとして参加しているため、今年度の参加を検討中。ESDに関係する方々との繋がりを広く構築することが目的。

\*2：ユネスコ加盟国のESD施策を担う政府関係者や教育、持続可能な開発に関わるその他のステークホルダー間との対話によりネットワークの構築及び各国のESD施策・優良事例の情報収集

\*3：長岡国際交流センターと連携したセッション開催を検討。Alejandro Martinez委員が長岡市の「世界が先生-国際交流育成事業」に講師として活動していることから、国際交流を中心としたユースによるユースのためのESD活動活性化を目標にユースフォーラムの分科会として開催することを想定。

\*4：室戸ジオパーク及び祖母・傾・大崩エコパークともにユースの活動巻き込みに加え、ソーシャルメディアの活用方法に関するヒアリングを実施予定。室戸ジオパークは溝淵委員がユースアンバサダーであること、祖母・傾・大崩エコパークは佐藤委員がコネクションを有することから選定。

\*5：昨年度に引き続き、日本ジオパーク全国大会内で開催されるユースセッションをサポートしつつ、同時に1月実施のユースフォーラムの告知及び協働先候補のネットワークを形成。

\*6：昨年度から連携実績のある糸魚川ユネスコ世界ジオパークと連携し、ジオパークのソーシャルメディア活用に関する施策をユースの視点から取りまとめる。取り組みは活動報告書としてまとめ、他のジオパークへの展開を目指す。

\*7：ユネスコ食文化創造都市である臼杵市（佐藤委員活動地）に活動内容や課題についてヒアリングを行い、ユースフォーラムで実施するイベントを検討。



**END**